

し尿処理で新しい試み

臨時市議会

57年度一般会計に

一千万円を補正

五月十七日、臨時市議会が開かれ、議案一件、報告（市長の専決処分）二件がそれぞれ可決、承認されました。

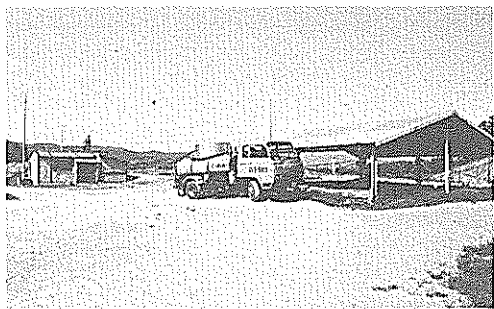
■可決された議案

○市税条例の一部改正

地方税法の改正（三月末、国会で法案が成立）に伴い、市税条例を改正する必要があるもの。

内容は、

①市民税均等割の非課税限度額十八万四千円を二十万に引き上げる。



黒滝のし尿処理場

②妻と死別または離婚した者（寡夫・寡母）のうち、一定の親族を有し、かつ年間所得が三百万円以下の者で、老年者（満六十五歳以上）に該当しない者については、寡婦（かぶ）控除と同額の二十一万円の所得控除が認められる。

③控除対象配偶者または扶養親族を有する場合には、五十七年度の個人の県民税および市民税に限り、所得の金額が二十七万円に本人、控除対象配偶者および扶養親族の合計数を乗じて得た金額に、九万円を加算した金額（現行二十万七千円に本人、控除対象配偶者および扶養親族の合計数を乗じて得た金額）以下である者については、所得割を課さない。

④五十七年度は固定資産税の評価替えにより、一般的に土地評価は上昇します。この評価額を基礎として税額を算出すると急激な税金の上昇となる場合がありますが、この評価の上昇割合に応じて課税を一定限度以下に制限する負担調整という制度があり、今回の改正ではこの率を一部下げることになりました。

■承認された報告（市長専決処分）

○五十六年度一般会計補正予算
補正総額一千九百五十三万三千円、内訳は、五十六年度の退職者の確定に伴う退職手当に一千三百二十六万四千円、同対策事業費の道路関係に六百万円が主なもの、この補正で五十六年度一般会計歳入歳出予算総額は、九十一億五千三百七十九万七千円となりました。

○五十七年度一般会計補正予算
し尿処理法の新しい試みの「複合ラグーン方式」の試験委託費として一千万円を補正するもので、電気工事費、電気料、試験委託経費からなっています。

この補正によって、五十七年度一般会計歳入歳出予算総額は、九十二億七千五百四十四万六千円となりました。

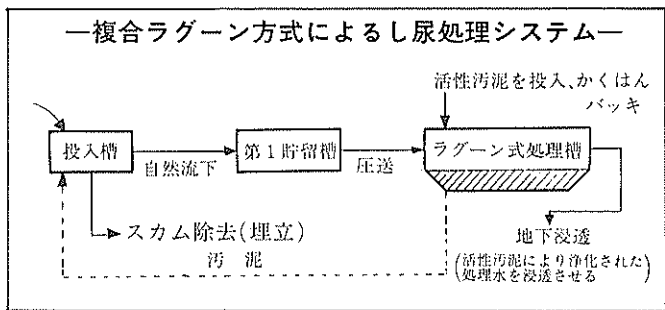
【解説】

○専決処分Ⅱ議会の議決すべき事項であるが、議会が成立しないとか、議案が議決しないとかいう場合に、その補充的手段として市長が独断で専決することが出来る。（地方自治法）

ただし、専決処分は、次の議会においてこれを議会に報告し、その承認を求めなければならぬ。

○複合ラグーン方式によるし尿処理計画

黒滝し尿処理施設内の既設の約一、五〇〇㎡の処理槽を、複合



ラグーン式活性汚泥処理施設に改善し、処理機能を増強して、浄化された処理水を浸透させるもので、自然界における自浄作用を利用したシステムです。（左図参考）

市は、深刻化するし尿処理問題に活路を見いだそうと、近代的なし尿処理場ができるまでの間、この処理方法により改善しようとするもので、東京大学工学部都市工学科衛生工学教室（半井純助手）と、その補助機関である農村環境研究会（代表Ⅱ岸博氏）に委託、新しい方式のし尿処理を始めることになりました。

民家防音工事に5億7千万円

本年度は二百十六戸が対象に

五十八年秋のジェット機就航に伴う空港周辺の騒音区域が三月末に発表されましたが、このほど運輸省から住宅騒音防止対策事業の

の具体的内容が明らかになりました。それによると、本年度は二百十六戸が民家防音工事の対象で、五

はA・B工法ⅠWECPL（荷重等価実効騒音レベル）80以上が六十六戸、C工法同80未満75以上が百五十戸となっています。

工事は今後の市の担当職員が現地へ出向いて説明会を行い、夏ごろから順次着工される予定です。工事費は約一〇〇%が国費で個人負担はほとんどありません。工事内容は各戸一室一五室の範囲で冷暖

房設備や窓枠等、（ランク付けがあり、世帯員数等で部屋数・工事内容が異なります）の工事が行われます。

空港本体工事、空港周辺整備事業とはば順調に工事が進んでいる中で残されていた空港周辺住民のことも関係のたかかった民家防音工事がいよいよ着工されることになって、空港完成へ一歩も二歩も近づいたものといえます。

県民総合防災週間

6月1日から7日まで

集中豪雨や台風に備えよう

今年も、集中豪雨や台風シーズンが近づいてきました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。「備えあればうれい無し」と言います。いざという時のために、災害時の避難場所や安全な道順を確かめ、災害から身を守るためにふだんから心がけましょう。

ご家庭では、いざという時のために、次のようなものを用意しておきましょう。

①懐中電灯②トランジスタ・ラジオ③予備の電池も③当面の食料品④水筒⑤応急医薬品（かぜ薬、胃腸薬、傷薬、消毒薬、ガーゼな

ど⑥ビニール袋など。

これらの非常用品を袋などに詰めて、いつでも持ち出せるようにしておく安心です。

■台風や大雨時には、気象情報に注意し、もし避難する場合には、頭を保護して早めに安全な場所へ移動しましょう。

■子どもやお年寄りは、複数で避難しましょう。

■避難をする時は、必ず火の元と戸締りを確かめましょう。



シエラ機械株式会社
世帯の高知空港

